

16 番 繁昌 誠吾 議員

1 リナシティかのやの今後について

- (1) 先月、イオンかのやショッピングセンターの開業に伴い、マックスバリュリナシティかのや店が閉店したことは、中心市街地活性化への大きな痛手となった。これまで、同店は中心市街地活性化の核店舗として位置付けられ、市議会においてもそのように答弁されており、地域の住民の方々からは、買い物に困っているという声が多く寄せられている。床所有者が民間であることは重々承知しているが、市は、地域の生活基盤を支えるという観点から、この問題に対してどのような対策を講じるべきだと考えているのか、具体的な見解を示されたい。
- (2) マックスバリュ閉店後の駐車場の夜間利用制限により、地域の住民の方々の利便性が低下している。今後、この駐車場をどのように有効活用し、地域住民及び市民のニーズに応えていくのか、具体的な方策について示されたい。
- (3) 本年6月定例会において、マックスバリュ跡地への対応が議論されたが、現況では、民間事業者の参入は困難な状況である。このままでは、中心市街地の空洞化が更に加速し、市民生活に大きな影響を与えることが懸念される。そこで公民館の機能移転のように、図書館や文化会館、子育て支援施設などを集約し、リナシティかのやを新たな複合文化施設として再生することは、中心市街地活性化の起爆剤になると考えるが、今後の市の方針を示されたい。
- ① 図書館及び文化会館は、既に建設から40年以上が経過しており、近いうちに大規模な改修が必要になると考えられる。財政状況を鑑み、国内の先進的な事例を参考に、多角的な視点から検討を進める時期に来ていると感じている。市の今後の方向性について見解を示されたい。
- ② イオンかのやショッピングセンターの大規模な子どもの遊び場の開設により、本市の子育て環境は大きく変化することが予想される。現在、県民健康プラザに設置されている本市の子育て施設の利用状況が変化し、その役割が相対的に低下していく可能性がある。そこで、子育て交流プラザをリナシティかのやに移転し、より多くの子どもたちが利用しやすい環境を整えることで、市全体の子育て支援を強化すべきだとする。今後の計画について、具体的な見解を示されたい。
- (4) リナシティかのやは、市民生活の向上を目指し複合施設として、その役割を見直す必要があると考える。公共施設としての機能を強化し、市民サービスの向上を図ることで、地域の活性化に貢献できると考える。にぎわいづくりやイベントの実施は地域の商店街を中心ににぎわいづくり協議会等との連携を深め、多様な主体が参画する形で活性化を図るべきである。新たな視点に基づいた、リナシティかのやの将来像について、具体的な見解を示されたい。